

第53回例会

2016.2.27(土) 19:00~21:00 (終了後、懇親会有り)

対象／医療関係者 参加料／2,000円(学生1,000円)

※当日受付にてお支払いください。(受付にて領収書を発行致します)

IOMは大森・東京歯科口腔外科、理事長新保悟を中心として、口腔医療に携わる全ての人達で作るスタディグループです。オープンな勉強会ですので、どなたでも気軽にご参加いただけます。どうぞ、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。※テーマは毎月変わります。

第53回 主な演者

医療法人社団 恵生会 理事長

渡辺 孝夫先生

日本大学歯学部 卒業



講演内容

「下歯槽神経麻痺の症状、 長期経過、対処法」

同先生は下歯槽脈管神経束移動術の**10年以上の長期症例(8症例9部位)**の実績を持ち、その症例の神経機能回復経過を観察されてきました。**その経験を元に対処法などをご披露頂きます。**
※詳細は裏面に記載

- ・神奈川歯科大学大学院 3D画像解剖学講座、客員教授
- ・日本大学歯学部病理学教室兼任講師
- ・日本口腔インプラント学会専門医
- ・ICOI(International Congress of Oral Implantologist) Fellow, Deplomate
- ・AO; Academy of Osseointegration; Active member etc...

会場

Luz大森 4F 入新井集会室
東京都大田区大森北1-10-14

お申し込み (お問合わせ)

IOM事務局／大森・東京歯科口腔外科
担当:安田
TEL/FAX/E-mailで承ります。
●TEL:03-5767-7505
●FAX:03-5767-7508
●E-mail:soushinkai.yasuda@gmail.com
●HP:http://iom-dental.net/

Facebook

当スタディグループのページ有り。【IOM】でご検索下さい。
Facebook上でも同イベントの申込を受けつけております。

10minutes セミナー同時開催

演者:新保悟

「当院におけるインプラント
周囲炎への取り組み」



第53回に参加 / 不参加

次回以降の案内 希望 / 希望しない

懇親会に参加 / 不参加
(会場階下の中華料理 会費制)

貴院/貴技工所/貴社名

ご参加者名

E-mail

ご住所 〒

TEL

()

FAX

()

下歯槽神経麻痺の症状、長期経過、対処法

神奈川歯科大学大学院歯学研究科(解剖学)客員教授
渡辺 孝夫

下歯槽神経損傷は下顎埋伏歯の抜歯の際に問題になることが多かった。しかし、それほど頻度が多い、というイメージはない。しかし、インプラント治療が普及している現在では、インプラント治療に関連する下歯槽神経損傷が増加しているように思われる。

下歯槽神経損傷は訴訟事件に発展しやすいトラブルとみられている。事実、歯科関係の医療裁判訴訟の事件件数でも、常に、上位にランクされている。インプラント治療を身近に行っている一般歯科開業医は、下歯槽神経損傷についてももう一度基礎から学び直す必要があるのではないかと考えている。

下歯槽神経損傷の臨床所見および経過は研究対象として困難なテーマである。下歯槽神経損傷の症例そのものが少ないので、まとまった研究が行えない。一昔前、下顎歯槽骨高度吸収症例に対し、画像診断技術が不十分であったため下歯槽脈管神経束移動術が行われていた時代があった。この術式では高い頻度で下歯槽神経麻痺が起きる。

私はこの術式を8症例9部位に施術し、10年以上の長期にわたり、術後の神経機能回復経過を観察する経験をした。この経験を通して、下歯槽神経麻痺の症状、回復経過、対処法について報告する。